

大会名： 第26回全日本壮年ソフトボール大会 大阪予選会

準決勝

会場： 大阪市舞洲コミュニティーグラウンド

試合日：平成23年4月17日

試合No. 15

試合戦評

決勝戦へ駒を進めたのは吹田クラブ壮年 ！

吹田クラブ壮年は、初回表1、2番の連続安打から2点を先制。5回に1点を加えた。
さらに6回に安打の後、高橋がセンターオーバーのツーランホームランで追加点。勝利を手にした。
オール河内長野は、吹田クラブ壮年の辻投手から1安打と力を発揮できないまま試合を終了した。

記載者 江頭裕美子

準決勝

試合No. 16

試合戦評

壮年大阪桃次郎 長打攻撃で決勝へ進出 ！

初回の攻防が試合の全てだった。

初回聖徳は、山野の安打を足掛かりに中村、杉浦の連続二塁打等で3点を挙げ勢いに乗ると思われたが大阪壮年桃次郎は、その裏山田の二塁打で1点を返し、満塁押し出し後、代打本多がセンターオーバーの満塁本塁打で6点取り初回で試合を決めた。桃次郎満塁投手は2回以降2安打、無得点に抑えた。

記載者 山口秀蔵

決勝

会場： 大阪狭山市第3青少年運動広場 試合日：平成23年 5月 15日 試合No. 17

試合戦評

壮年大阪桃次郎 4番山田全国へ導く2本塁打 ！

先制点を奪われた大阪壮年桃次郎は、2回裏先頭の山田が右中間本塁打で反撃のノロシを上げ、一気に逆転。その後も豊富な控え選手を注ぎ込んで果敢に攻め勝利した。

昨年まで男子西日本リーグ桃次郎に所属していた山田は長打3本を放つ活躍で、存在感を見せた。

一方、吹田クラブ壮年は、初回新谷の2点本塁打で幸先の良いスタートを切ったが、5回に1点を返したものの、下位打線に元氣なく準優勝にとどまった。

記載者 馬越わか